

風 緑

矢嶋 翼・岩田 典一・板谷 良久
竹田 秀泰・木村 司



矢嶋 翼
議員

☆今回の大規模停電で在宅酸素療法や人工透析など、命に直結する状況下の対応の質問に、医療機関や医療機器メーカー・行政が連携して対応。さらに検証し、防災力の向上に繋げると答弁がありました。

☆災害時の取るべき行動について市と町内会・民生委員が情報交換する場を設けるべきとの質問に、高齢者等への支援を着実にする為さらに、町内会・民生委員との連携を進めると答弁がありました。
☆苦小牧独自の小中一貫教育「オールナイン」での成果の質問に、小中共同で教員研修・中学教員が小学で授業・小中で学習や生活の課題を共有して授業改善が進む効果があると答弁がありました。



岩田 典一
議員

4期目の市長公約について、会

派を代表して質問しました。
☆20年先を見据えたまちづくりの実践について、財政基盤のさらなる強化のため、国際リゾート構想の推進など、税収、税外収入の増加に向けた施策に力を入れていくと答弁がありました。

☆旧サンプラザビルについて、現在、個人、法人合わせて28名の権利を市が一元集約しており、残り1名の権利者から無償譲渡の意向をいただけるよう引き続き取り組んでいく考えが示されました。

☆(仮称)市民ホール建設について、民間の資金や能力を活用するPFIの導入を、31年度の早い時期に判断すると答弁がありました。



木村 司
議長

☆平成30年10月29日に議会改革の一環として開かれた議会を旨とする市民の皆さんと議会を近づけるため制定する議会基本条例市民説明会が開かれました。1回目は議員・市民46名の参加をいただき、2回目は35名の参加をいただいて開

催されました。市民の皆さんから、条例が出来ることで何が変わるのか、今後、政治倫理条例を制定する予定はあるのかなど、活発な質疑がおこなわれました。また、議会モニター制度等を取り入れてもいいのではなど、貴重な提案を受けました。今後、新しく取り入れた議員間討議や広聴広報活動の具体的方策について検討し実行していくことが重要と考えております。



竹田 秀泰
議員

☆待機児童解消について質問し、平成32年以降の第二期計画で三歳未満児の待機児童解消に向けた内容が中心との答弁がありました。

☆学校ICT化について質問し、31年度以降普通教室などで利用できるタブレット端末の導入を検討しているとの答弁がありました。

☆市立病院医局棟増築について、医局員の出入りにダブルのセキュリティチェックが必要と質問し、通常のチェックと防犯カメラを併用すると答弁がありました。

☆拓勇樹林の植栽調査について大学などの調査機関に出来ないか質問し、専門的な研究が必要な場合は大学などの専門機関に依頼も考えていくと答弁がありました。



板谷 良久
議員

☆受動喫煙対策として、民間事業者が喫煙施設を設置する場合、国の助成金に加えて、市が単独で助成する方針が明らかとなり、できる限り自己負担が軽減されるよう要望しました。

☆博物館の新たな取り組みとして、かつて経験したことを楽しみながら皆で語り合うことによって、脳を活性化させ、気持ち(心)を元気にする心理・社会的アプローチである回想法を導入した事業を新設するよう提案しました。

☆10年前と比較し、全国学力調査の結果が大幅に上昇している結果について、今後は数学的な思考を高める指導が重要となることが明らかとなりました。